

都医療費助成患者におけるぜん息コントロール状態の評価

参考資料4

成人・・・重症度分類・ガイドライン内の「コントロール状態の評価」参考、小児・・・重症度分類・ガイドライン内の「喘息コントロール状態の評価」参照

	質問1	最近1か月間で、 日中 にぜん息の症状(ゼイゼイする、咳、息切れ、胸が苦しい・痛い)が何回ありましたか。	1 なし 4点	2 月に1～3回 3点	3 週に1～2回 2点	4 週3回以上 1点
成人	重症度			週1回未満で軽度・短い	週1回以上	毎日
	コントロール		OK	軽症間欠型	軽症持続型	中等症持続型 重症持続型
小児	重症度		良好	年に数回、季節性、軽度喘鳴	咳嗽、軽度喘鳴が1回/月以上、1回/週未満	咳嗽、軽度喘鳴が1回/週以上
	コントロール		軽症間欠型	軽症持続型	中等症持続型	重症持続型
			なし	月1回以上		
			良好・比較的良好	不良		

	質問2	最近1か月間で、 夜間 や早朝にぜん息の症状(ゼイゼイする、咳、息切れ、胸が苦しい・痛い)が出て眠れない、または目が覚めてしまうことが何回ありましたか。	1 なし 4点	2 月に1～3回 3点	3 週に1～2回 2点	4 週3回以上 1点
成人	重症度			月2回未満	月2回以上	週1回以上 しばしば
	コントロール		OK	軽症間欠型	軽症持続型	中等症持続型 重症持続型
小児	重症度		良好	時に中・大発作	週1～2回中・大発作	週に1～2回中・大発作
	コントロール		少ない 軽症持続型	中等症持続型	重症持続型	
			良好・比較的良好	月1回以上		
				不良		

	質問3	最近1か月間で、ぜん息の症状(ゼイゼイする、咳、息切れ、胸が苦しい・痛い)が出て、日常生活(運動、遊び、仕事、学校活動等)に支障をきたすことがありましたか。	1 はい 1点	2 いいえ 2点
成人	重症度		月1回以上	週1回以上 日常生活制限
	コントロール		軽症持続型	中等症持続型 重症持続型
小児	重症度		時に中・大発作	週1～2回中・大発作
	コントロール		中等症持続型	重症持続型
			月1回以上	あっても軽微 なし
			不良	比較的良好 良好

	質問4	最近1か月間で、発作止めの、吸入薬や飲み薬を使う頻度はどの程度ですか(この質問の薬は、発作が起きた時、起きそうな時に使う薬です。)	1 なし 4点	2 月に1～3回 3点	3 週に1～2回 2点	4 週3回以上 1点
成人	重症度					ほとんど毎日 中等症持続型
	コントロール		良好		不十分	
小児	重症度			ときどきあるも2歳用で呼吸困難改善。		
	コントロール			軽症間欠型	週1回以上	
			良好	月1回以上、週1回未満	週1回以上	
			比較的良好		不良	

	質問6	最近2年間で、ぜん息の発作で救急外来を受診したことはありますか。	1 はい 1点	2 いいえ 2点
成人	コントロール		月に1回以上	年に1回以上
			不良	不十分
小児	コントロール		不良	良好・比較的良好

スコア(点数)を3段階にランク分け

	QOLランク	点数考え方	
成人		最もコントロール良好・・・16点	すべて最高点(4-4-2-4-2点)の場合
	良好	だいたいコントロールされている・・・14点以上(+救急外来受診なし)	症状が月1～3回以下、夜間症状も1～3回以下だが、日常生活に支障はない。発作止めも月1～3回以下。救外受診なしの場合
	不十分	中間・・・10～13点(+救急外来受診なし)	軽症間欠型相当は12～14点、軽症持続型相当は10～12点
	不良	コントロール不良・・・9点以下、10点以上でも救急外来受診あり	(ガイドライン上のコントロール評価を参考)
		最もコントロール不良・・・5点	すべて最低点(1-1-1-1-1点)の場合

小児QOLランクパターン①(質問1～4、6で評価)

	QOLランク	点数考え方	
小児	良好	良好・・・16点(+救急外来受診なし)	すべて最高点(4-4-2-4-2点)の場合
	比較的良好	比較的良好・・・12～15点(+救急外来受診なし)	軽症間欠型相当は13～15点、軽症持続型相当は11～13点
	不良	不良・・・5～11点、12点以上でも救急外来受診あり	中等症持続型相当は8～11点、重症度持続型相当は6～9点
		最低点・・・5点	すべて最低点(1-1-1-1-1点)の場合

問題点

・質問6は、最近のコントロール状態ではなく、2年間の状況である。そのため、コントロール評価項目からは除外する？(成人のガイドライン上のコントロール評価では、月1回以上、年1回以上という単位での評価)

小児QOLランクパターン②(質問1～4で評価)

	QOLランク	点数考え方	
小児	良好	良好・・・14点	すべて最高点(4-4-2-4点)の場合
	比較的良好	比較的良好・・・10～13点	軽症間欠型相当は11～13点、軽症持続型相当は10～12点
	不良	不良・・・4～9点	中等症持続型相当は7～9点、重症度持続型相当は4～7点
		最低点・・・4点	すべて最低点(1-1-1-1点)の場合

QOLスコア作成にあたり参考とした質問票

喘息コントロールテスト(ACT)	QOLスコアとの対応
質問1:最近4週間で、喘息(ゼンソク)により思うように仕事や学業などがはかどらなかったことは時間的にどの程度あるのか? 1点:常時ある、2点:かなりある、3点:たまにある、4点:多少ある、5点:全くない	質問3
質問2:最近4週間で、息切れ(呼吸困難)症状がした頻度は? 1点:1日に2回以上、2点:1日に1回、3点:1週間に3~6回、4点:1週間に1、2回、5点:全くない	質問1
質問3:最近4週間で、喘鳴(ゼンメイ)や咳(セキ)、息切れや胸が苦しいなどの喘息の症状のせいで、夜中に目が覚めたり、通常よりも早く目に目が覚めてしまう頻度は? 1点:1週間に4回以上、2点:1週間に2、3回、3点:1週間に1回、4点:4週間に1、2回、5点:全くない	質問2
質問4:最近4週間で、喘息発作止めの吸入薬(薬を霧状に噴出し、口から吸い込み気管支や肺に作用させる薬剤)を用いた頻度は? 1点:1日に3回以上、2点:1日に1、2回、3点:1週間に数回、4点:1週間に1回以下、5点:全くない	質問4
質問5:最近4週間で、自分自身の喘息の症状をどの程度コントロールできたか? 1点:全くできなかった、2点:あまりできなかった、3点:半分くらいはできた、4点:十分にできた、5点:完璧にコントロールできた	

小児ぜん息重症度判定と喘息コントロールテスト Japanese Pediatric Asthma Control Program(JPAC)	QOLスコアとの対応
1. この1か月に、ゼーゼー・ヒューヒューした日はどのくらいありましたか。 まったくなし(3)	質問1
2. この1か月に、呼吸困難(息苦しい)のある発作がどのくらいありましたか。 まったくなし(3)	質問1
3. この1か月に、ぜん息症状で夜中に目を覚ましたことがどのくらいありましたか。 まったくなし(3) 時にあるが週1回未満(2)	質問2
4. 運動したり、はしゃいだ時にせきが出たりゼーゼーして、困ることがありますか。 まったくなし(3) たびたびあり困る(1) いつもあり困っている(0)	質問3
5. この1か月に、発作止めの吸入薬や飲み薬、はり薬をどのくらい使いましたか。 (この設問の薬は、予防のための薬ではなく、せきやゼーゼーなどの発作時に使用する薬です) まったくなし(3)	質問4
6. 現在使用しているぜん息の長期管理薬(予防薬)の名前を教えてください(使用している薬に○をつけて下さい)。 吸入ステロイド薬を使用している場合には、1日の吸入回数がわかれば教えて下さい。 吸入ステロイド薬①フルタイドディスク(50 μ g)、(100 μ g)、(200 μ g) [1日吸入回数: 回] ②フルタイドロタディスク(50 μ g)、(100 μ g)、(200 μ g) [1日吸入回数: 回] ③フルタイドエアー(50 μ g)、(100 μ g) [1日吸入回数: 回] ④キューバール(50 μ g)、(100 μ g) [1日吸入回数: 回] ⑤バルミコート吸入液(0.25mg)、(0.5mg) [1日吸入回数: 回] ⑥バルミコートタービュヘイラー(100 μ g)、(200 μ g) [1日吸入回数: 回] ⑦オルベスコ(50 μ g)、(100 μ g)、(200 μ g) [1日吸入回数: 回] ⑧アドエア100ディスク [1日吸入回数: 回] ⑨アドエア50エアゾール [1日吸入回数: 回] ロイコトリエン受容体拮抗薬①オノン②シングレア③キプレス 長期作用性 β 2刺激薬①セレベントディスク②セレベントロタディスク テオフィリン徐放製剤①テオドル②スロービット③テオロング④ユニフィル インタール吸入①吸入液②インタールカプセル(イーヘラー) ③エアゾール 毎日使用(0) 週1回以上、毎日ではない(1) 毎日ある(0) 週間に1回以下(2) 週間に数回、毎日ではない(1)	

成人気管支喘息ガイドライン コントロール状態の評価

	コントロール良好 (すべての項目が該当)	コントロール不十分 いずれかの項目が該当)	コントロール不良	QOLスコアとの対応
1 喘息症状(日中及び夜間)	なし	週1回以上	コントロール不十分の項目が3つ以上当てはまる	質問1・2
2 発作治療薬の使用	なし	週1回以上		質問4
3 運動を含む活動制限	なし	あり		質問3
4 呼吸機能(FEV1およびPEF)	予測値あるいは自己最高地の80%以上	予測値あるいは自己最高地の80%未満		
5 PEFの日(週)内変動	20%未満	20%以上		
6 増悪(予定外受診、救急受診、入院)	なし	年に1回以上	月に1回以上	質問6

小児気管支喘息ガイドライン コントロール状態の評価

評価項目	良好(すべての項目が該当)	比較的良好 ($\geq$ 1回/月)<1回/週	不良(いずれかの項目が該当)	QOLスコアとの対応
軽微な症状	なし	($\geq$ 1回/月)<1回/週	$\geq$ 1回/週	質問1・2 質問3 質問4
明らかな喘息発作	なし	なし	$\geq$ 1回/月	
日常生活の制限	なし	なし(あっても軽微)	$\geq$ 1回/月	
β 2刺激薬の使用	なし	($\geq$ 1回/月)<1回/週	$\geq$ 1回/週	

成人気管支喘息ガイドライン 現在の治療における患者の症状

現在の治療における患者の症状	QOLスコアとの対応
コントロールされた状態	
●症状を認めない	質問1
●夜間症状を認めない	質問2
軽症間欠型相当	
●症状が週1回未満	質問1
●症状は軽度で短い	
●夜間症状は月に2回未満	質問2
軽症持続型相当	
●症状が週1回以上、しかし毎日ではない	質問1
●月1回以上日常生活や睡眠が妨げられる	質問2・3
●夜間症状は月2回以上	質問2
中等症持続型相当	
●症状が毎日ある	質問1
●短時間作用性吸入 β 2刺激薬がほとんど毎日必要	質問4
●週1回以上日常生活や睡眠が妨げられる	質問2・3
●夜間症状が週1回以上	質問3
重症持続型相当	
●治療下でもしばしば増悪	(質問4)
●症状が毎日ある	質問1
●日常生活が制限される	質問3
●夜間症状がしばしば	質問2

小児気管支喘息ガイドライン 現在の治療における患者の症状

症状のみによる重症度(見かけ上の重症度)	QOLスコアとの対応
間欠型	
・年に数回、季節性に咳嗽、軽度喘鳴が出現する。	質問1
・時に呼吸困難を伴うが、 β 2刺激薬頓用で短期間で症状が改善し、持続しない。	質問4
軽症持続型	
・咳嗽、軽度喘鳴が1回/月以上、1回/週未満。	質問1
・時に呼吸困難を伴うが、持続は短く、日常生活が障害されることは少ない。	質問1・3
中等度持続型	
・咳嗽、軽度喘鳴が1回/週以上。毎日は持続しない。	質問1
・時に中・大発作となり日常生活や睡眠が障害されることがある。	質問2・3
重症持続型	
・咳嗽、喘鳴が毎日持続する。	質問1
・週に1~2回、中・大発作となり日常生活や睡眠が障害される。	質問2・3